

平成29年1月12日
香川河川国道事務所

第5回 住民参加型ワークショップを開催します。 ～土器川における水害に強いまちづくり検討～

土器川においては、「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づき、大規模氾濫が発生することを前提とした「土器川の減災に係る取組方針」を平成28年8月29日に策定しました。

この「取組方針」では、「水害に強いまちづくり検討会（会長：香川大学危機管理先端教育研究センター長 白木 渡）」により実効性が確保できる住民目線の対策を立案し、取組方針の実行に反映させることとしています。

地域住民参加型ワークショップは、平成27年度から実施（H27年度：3回開催）しており、本年度は2回（11月23日及び今回）開催し、今回のワークショップで終了となります。

本ワークショップは、地域住民自らが大規模氾濫時の避難行動や応急対策に関して、自助（住民）・共助（地域コミュニティ）・公助（行政）それぞれの取り組み内容や課題等を検討し、住民目線の対策の立案に繋げていくものです。

1. 開催日時：1月15日（日） 14：00～17：00
2. 場 所：丸亀市民会館2F 中ホール
3. 参加者：地域住民約30名（丸亀市土器町住民など）

これまでの「土器川における水害に強いまちづくり検討」については、以下のサイトで公表しています。

<http://www.skr.mlit.go.jp/kagawa/river/daikibosuigai/index.html>

平成29年1月12日

国土交通省 四国地方整備局 香川河川国道事務所

※本施策は、四国圏広域地方計画「No.1 南海トラフ地震を始めとする大規模自然災害等への「支国」防災力向上プロジェクト」の取り組みに該当します。

問い合わせ先

国土交通省 四国地方整備局 香川河川国道事務所

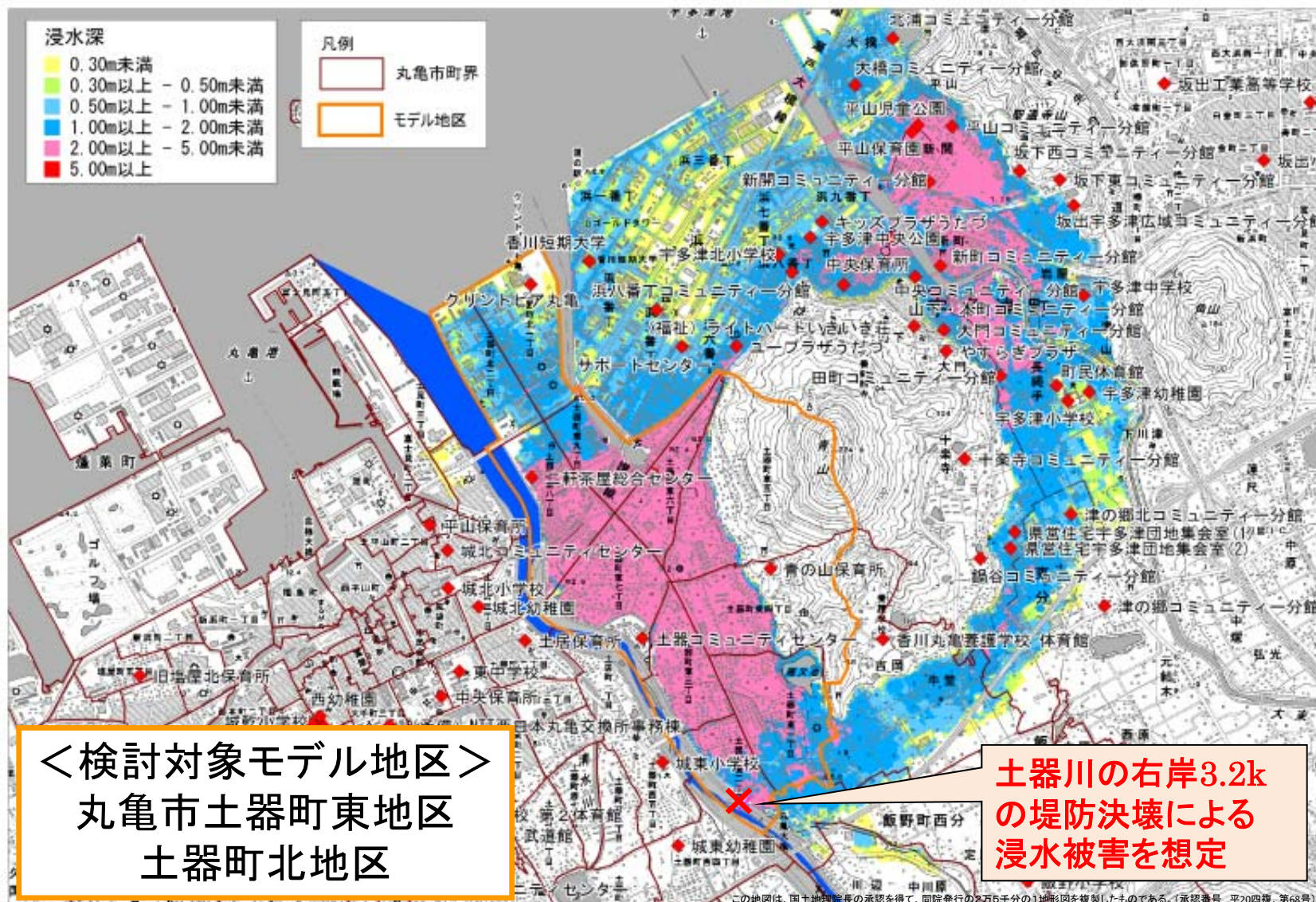
TEL：087-821-1561

副所長（河川）：うちやま内山 としひろ俊浩（内線 204）

○工務第一課長：かまだ鎌田 すぐる卓（内線 311）

○：主な問い合わせ先

ワークショップの検討対象モデル地区



“水害に強いまちづくり”の背景とねらい

＜背景＞

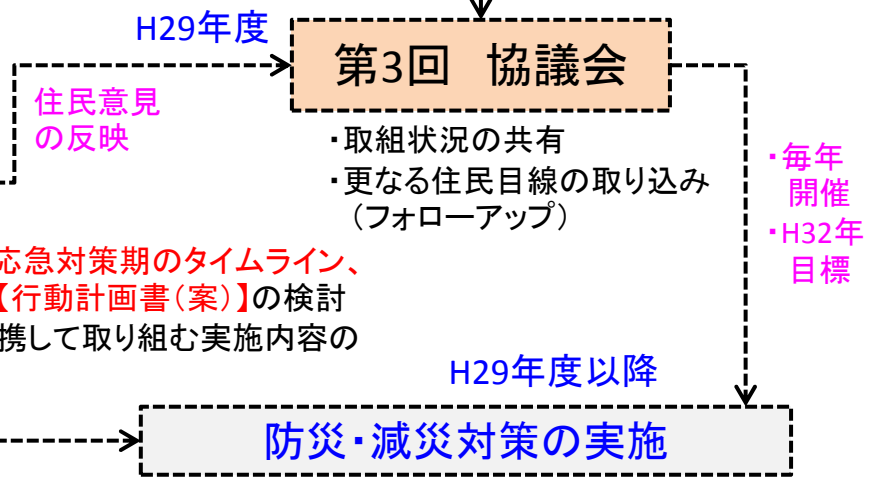
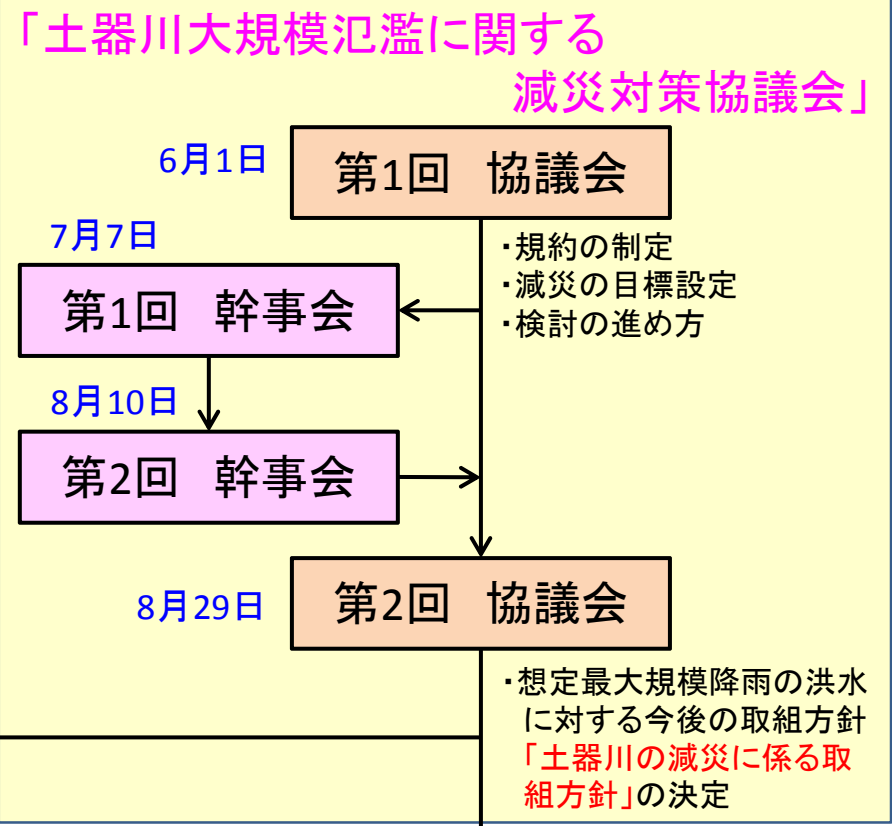
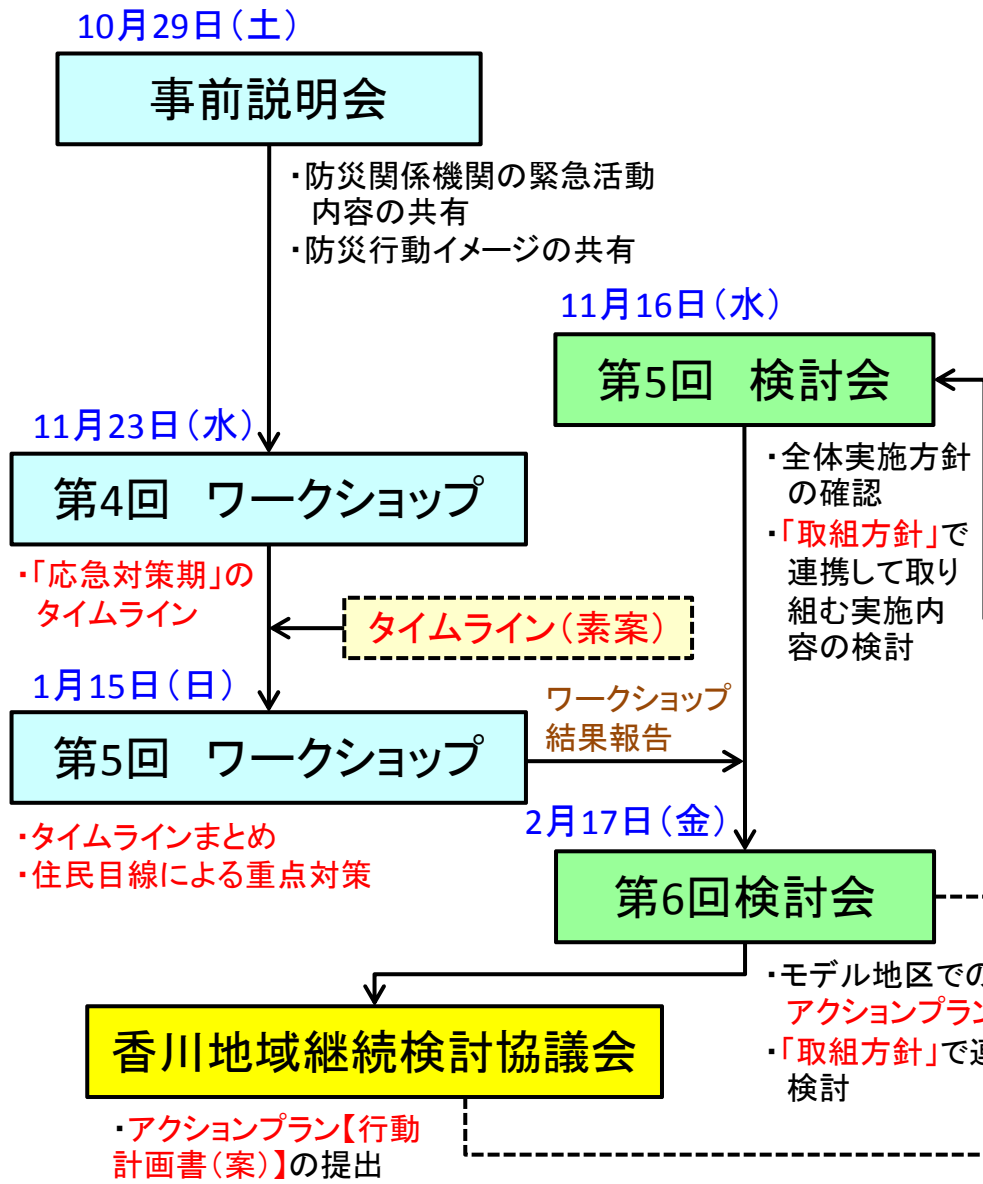
- 地球温暖化に伴う気候変化の影響により、大規模水害の発生が懸念
- 全国各地で大規模水害が発生
- 香川地域では、「**香川地域継続検討協議会**」を平成24年5月に設立し、大規模自然災害を想定した香川地域継続計画を検討
- 土器川流域（中讃地区）では、「**香川地域継続検討協議会**」と連携して、平成25年度から「**水害に強いまちづくり検討会・ワークショップ**」を実施
- 国土交通省は、平成27年9月の関東・東北豪雨を踏まえ、全国109水系を対象に、「**水防災意識社会 再構築ビジョン**」の取組を平成28年度から開始（概ね5年を目途に実施）
- 土器川では、「**土器川大規模氾濫に関する減災対策協議会**」を平成28年6月に設立し、これまでの“水害に強いまちづくり”の検討成果（住民意見）を反映させて「**土器川の減災に係る取組方針**」を平成28年8月に取りまとめ

＜本検討のねらい＞

- 土器川流域（香川県中讃地区3市4町）において、**水防災意識社会の再構築**を目指して、「**住民目線のソフト対策**」への転換を図るものとし、自助・共助・公助の連携による“**水害に強いまちづくり**”を推進し、地域における防災力、減災力の向上を図る

＜H28年度＞ 「水害に強いまちづくり検討会・ワークショップ」スケジュール

「土器川における水害に強いまちづくり検討会」



ワークショップ検討の流れ(案)



検討の場	情報の共有	意見出し(認識の共有)
第4回 ワークショップ ■ 応急対策期 のタイムライン	<ul style="list-style-type: none">● モデル地区における複合災害、防災関係機関による緊急活動内容について、情報の共有(情報共有ツール)● 行政が実施するタイムライン(案)(避難勧告・避難指示の発令タイミング、発災前後の対応)	<ul style="list-style-type: none">● 住民目線による時間軸に応じた防災行動の抽出(“いつ”、“誰が”、“何をするか”) →時間軸(いつ):応急対策期 →立場(誰が):地域住民(自助) 地域コミュニティ(共助) 行政(公助)→情報共有ツールを参考に、具体的な防災行動の内容を意見集約
第5回 ワークショップ ■ タイムライン まとめ ■ 住民目線による 重点対策	<ul style="list-style-type: none">● 第4回ワークショップのふり返し● 応急対策期のタイムライン(素案)の提示● <u>モデル地区における住民目線での課題</u>	<ul style="list-style-type: none">● 防災行動の掘り下げ(タイムラインに従って行動すれば、応急対策がスムーズにできるか) →タイムラインの実効性を確保するための課題(自助・共助・公助)を抽出● 住民目線による時間軸(応急対策期)に応じた“水害に強いまちづくりのためのアイデア”(実効性のある具体的な対策)の抽出 →防災行動・応急復旧の実効性を確保するための重点対策を意見集約

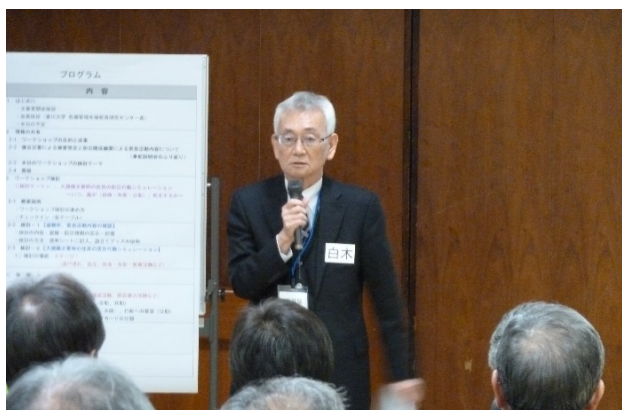


「アクションプラン【行動計画書(案)】平成28年度修正版」の取りまとめ

「第4回 ワークショップ」開催の様子

- ・『第4回 水害に強いまちづくりワークショップ』を開催しました。
- ・ワークショップでは、「大規模水害時の住民の防災行動シミュレーション～いつ、誰が(自助・共助・公助)、何をするか～」をテーマとして検討を実施しました。

◆開催日時 : 平成28年11月23日(水) 14:00～17:00
◆開催場所 : 丸亀市民会館 中ホール



「検討会」会長の挨拶



ファシリテーターによる進行



図面(透明シート)での検討



「意見カード」での検討



「意見カード」での検討



テーブル発表